

がん医療に携わる CNS（がん専門看護師）養成計画について

岡山大学大学院保健学研究科 看護学分野臨床応用看護学 教授 藤野 文代
主任教授 猪下 光

岡山大学大学院保健学研究科看護学分野

文部科学省の平成 19 年度「がんプロフェッショナル養成プラン」に岡山大学を中心として愛媛大学、香川大学、川崎医科大学、高知大学、高知女子大学、徳島大学、山口大学と共同申請した「中国・四国広域がんプロ養成プログラム ―チーム医療を担うがん専門医療人の育成―」が 8 月 20 日採択された。

■「がんプロフェッショナル養成プラン」趣旨

がんは、わが国の死亡率第 1 位の疾患ですが、がんを横断的・集学的に診療できる専門家が全国的に少なく、その養成が急務とされています。また、近年の高度化したがん医療の推進は、がん医療に習熟した医師、薬剤師、看護師、その他の医療技術者等（コメディカル）の各種専門家が参画し、チームとして機能することが何より重要です。

そのため、がん医療の担い手となる高度な知識・技術を持つがん専門医師及びがん医療に携わるコメディカルなど、がんに特化した医療人の養成を行うため、大学病院等との有機的かつ円滑な連携のもとに行われる大学院のプログラムが「がんプロフェッショナル養成プラン」です。

■「中国・四国広域がんプロ養成プログラム」概要・特色

本プランは、中国・四国地区 8 つの大学が一つのコンソーシアムを作り、各大学院にメディカル、コメディカルを含む多職種のがん専門職養成のためのコースワークを整備し、これに地域の 26 のがん診療連携拠点病院が連携することにより、広い地域にムラなくがん専門職を送り出すプログラムです。がんに関わる多職種専門職が有機的に連携し、チームとしてがん診療ならびに研究にあたることができるよう職種間の共通コアカリキュラムの履修を出発点として教育研修を行い、がん専門職養成の教育能力を強化します。こうして専門的臨床能力、チーム医療や臨床研究の能力をともに身につけたがん専門職が数多く輩出されることにより、地域におけるがん治療の均てん化、標準化が期待されるとともに、臨床研究の活性化が期待されます。

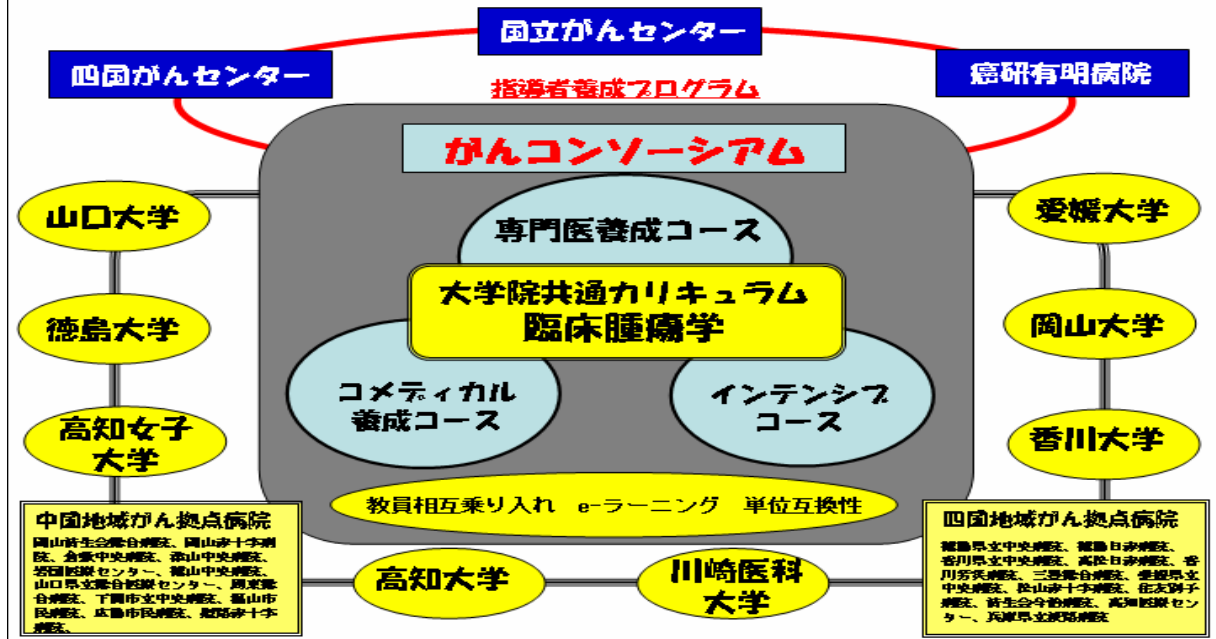
■養成計画

1) がん医療に携わる CNS（がん看護師）コース

岡山大学大学院保健学研究科前期博士課程においては、藤野文代教授を中心として専門看護師「がん看護」コースを申請中であり、年間約 5 名を養成する計画です。

看護師の資格をもち一定の実務経験を有する看護職を対象とし、日本看護系大学協議会の定めた課程を大学院において履修し、がん治療の基礎、および化学療法、放射線療法、緩和などの臨床腫瘍学を他職種とともに履修し、チームによる実習・研修を行い、単位を取得し学位（看護学修士）および専門看護師の資格を取得します

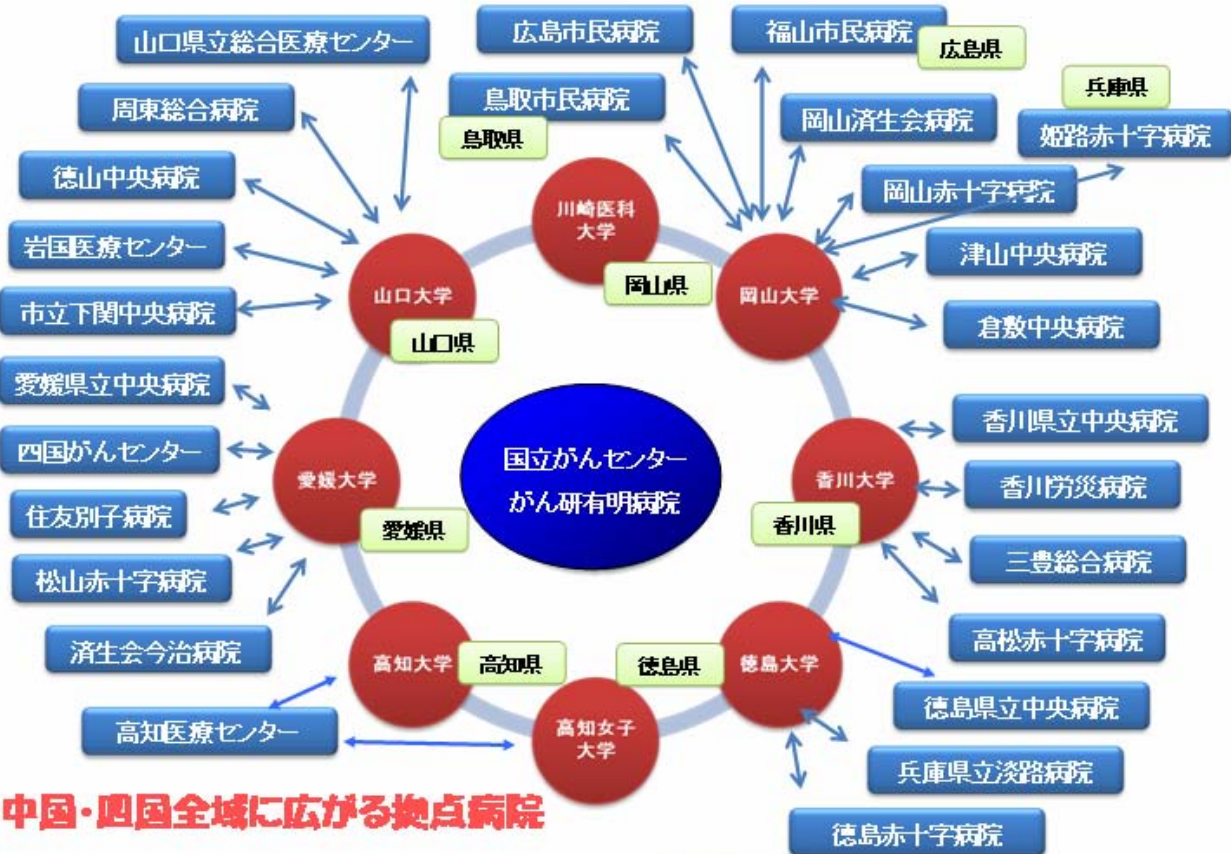
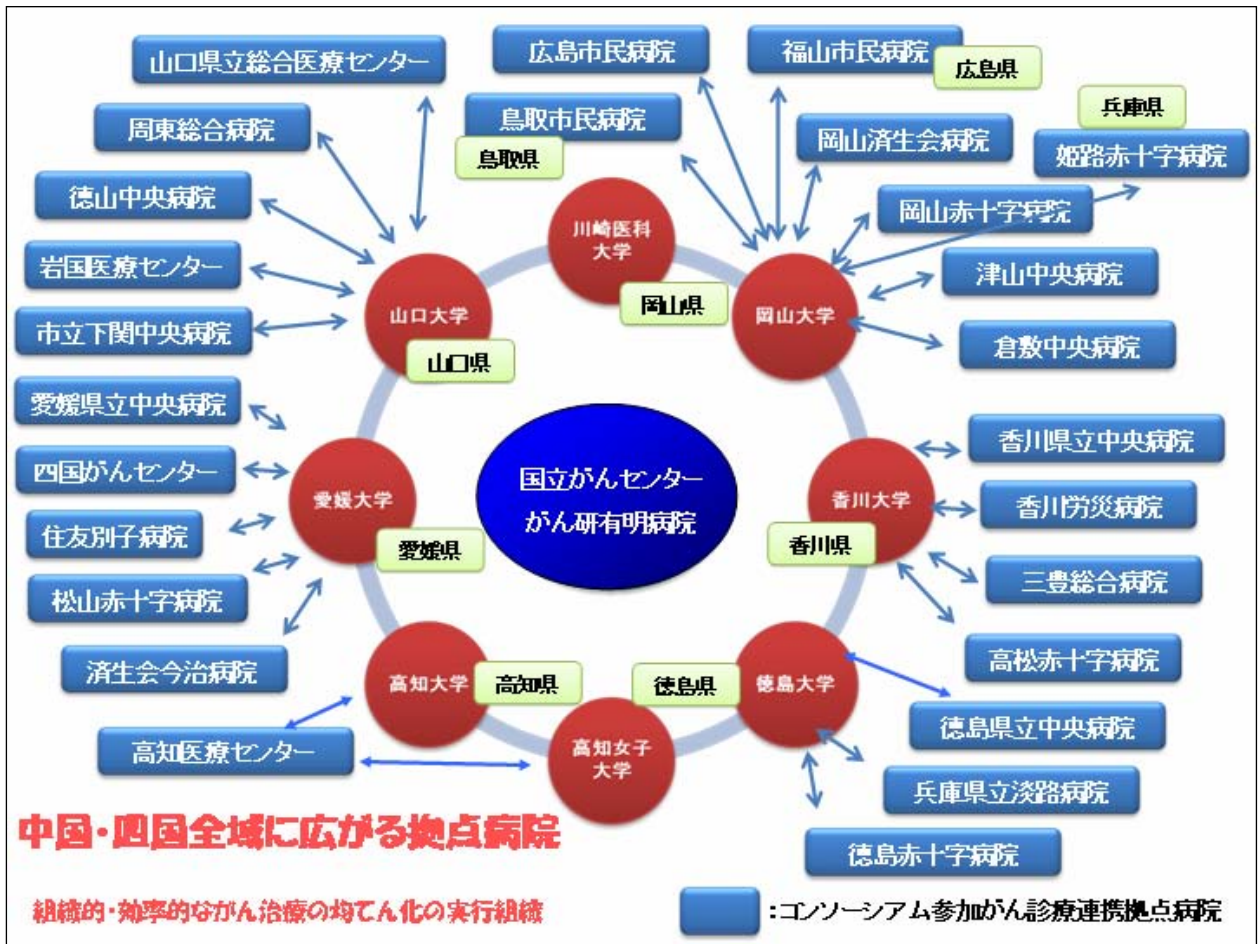
中国・四国広域がん専門医療人養成プラン



大学院がん専門医療人養成コースと施設名

| | 愛媛大 | 岡山大 | 香川大 | 川崎医大 | 高知女子大 | 高知大 | 徳島大 | 山口大 |
|---------------------|-----|-----|-----|------|-------|-----|-----|-----|
| がん専門医療人養成コース | | | | | | | | |
| ・がん薬物療法専門医コース | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | | ◎ | ◎ | ◎ |
| ・放射線治療医コース | | ◎ | | | | ◎ | ◎ | ◎ |
| ・緩和療法医コース | | | ◎ | | | | ◎ | |
| ・腫瘍外科コース | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | | ◎ | ◎ | ◎ |
| ・がん専門薬剤師コース | | ◎ | | | | ◎ | ◎ | |
| ・がん専門看護師コース | | ◎ | | | ◎ | | ◎ | |
| ・医学物理士コース | | ◎ | | | | ◎ | ◎ | |
| ・がん専門栄養士コース | | | | | | | ◎ | |

◎ : カリキュラム作成幹事校



組織的・効率的ながん治療の均てん化の実行組織

■ : コンソーシアム参加がん診療連携拠点病院